

# 山田通信

暑い日が続きますね。クーラーを上手に利用したりこまめな水分補給をしたりして体調を崩さないよう、熱中症には十分に気を付けましょう！

## 大腸がん

**\* 便秘・下痢・痔などが続いたら要注意！ \***

日本人の死亡原因で、もっとも多い病気は「**がん**」です。

その中でも《大腸がん》での死亡者数が、**女性は5年以上第1位、男性でも2009年から第3位**です。

早期の大腸がんには自覚症状がほとんどありません。一番気を付けたいのが**出血**です。赤い血が混じったり、出血によって便が変色して赤褐色になったりします。放置すると、がんになる危険性がある[大腸ポリープ]は、大腸の粘膜にできるイボのようなものです。ポリープの状態でも早期に見できれば、大腸内視鏡検査と同時に切除することも可能です。



要注意

Q&A

先生に聞いてみました！

**Q** クリニック名が消化器内科ですが、高血圧や花粉症などの病気で受診しても良いのでしょうか？

**A.** 開業前は浜松医療センター消化器センター長として、どっぴりと消化器疾患診療に携わっていました。その専門性を生かしたいという思いから『消化器内科クリニック』としました。しかし、これからは地域医療の担い手として消化器疾患のみならず、高



血圧や高脂血症、糖尿病花粉症など幅広い診療を目指していきたいと考えています。

## 夏に増える細菌性食中毒！

食中毒には、細菌によって起こるものと、ウイルスによって起こるものがあります。夏に増えるのは細菌性の食中毒。(O-157・カンピロバクター菌・サルモネラ菌など…)

細菌は、食べ物などに付着して、私たちの体に侵入します。菌が体に入ってから数時間～7日ぐらいで、発熱や腹痛、下痢や嘔吐などが起こります。こうした症状が出た場合は必ず医療機関を受診しましょう。特に**子どもや高齢者**は重症化することもあるので注意が必要です。

